

## 昼と夜で人口がちがう？

国勢調査の結果でわかることの一つに昼夜間人口というものがあります。夜間人口は住んでいる場所の人口を、昼間人口は夜間人口に通勤・通学先を反映した人口をいいます。一般的な人口は夜間人口のことです。昼夜間人口は、防災計画の策定、地域の交通体系の整備などに必要なデータとなっています。

平成 22 年の京都府の昼間人口は 266 万 8371 人、夜間人口は 263 万 6092 人です。

18 万 7609 人の方が他府県から京都府へ通勤・通学（流入）し、15 万 5330 人の方が京都府から他府県へ通勤・通学（流出）しています。

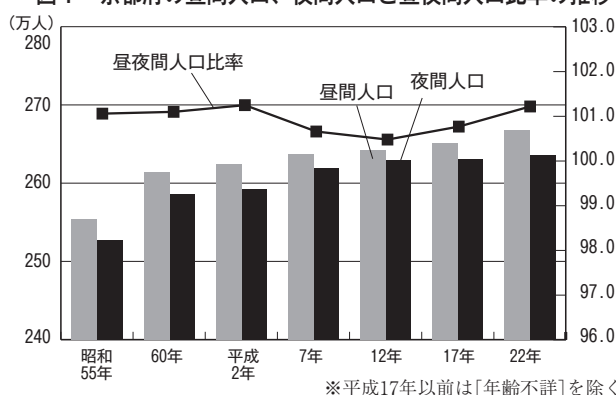
京都府の昼夜間人口比率（夜間人口 100 人当たりの昼間人口）は 101.2 で、平成 7 年、12 年は減少しましたが、17 年、22 年は増加しました。また、全国で第 4 位となっています。（図 1、表 1）

流入・流出で 15 歳以上の通勤・通学者数をみますと、府外からの通勤者は、昭和 55 年調査から毎回増加しており、府外への通勤者は、昭和 55 年から毎回増加していましたが、平成 22 年に減少となりました。通学者については、流入は平成 7 年以降、流出は平成 12 年以降減少しています。（図 2）

また、この昼夜間人口は、市区町村単位でもみることができます。京都府内の市区町村で最も昼夜間人口比率が高いのは久御山町です。また、全国で最も高いのは東京都千代田区です。（表 2）

本年（平成 27 年 10 月）の国勢調査の結果で、私たちが住んでいる地域のさまざまな様子を知ることができます。府民のみなさまの調査へのご理解をよろしく申し上げます。

図 1 京都府の昼間人口、夜間人口と昼夜間人口比率の推移



※平成17年以前は[年齢不詳]を除く

図 2 他府県からの流入、他府県への流出の通勤者数、通学者数の推移（15歳以上）（京都府）

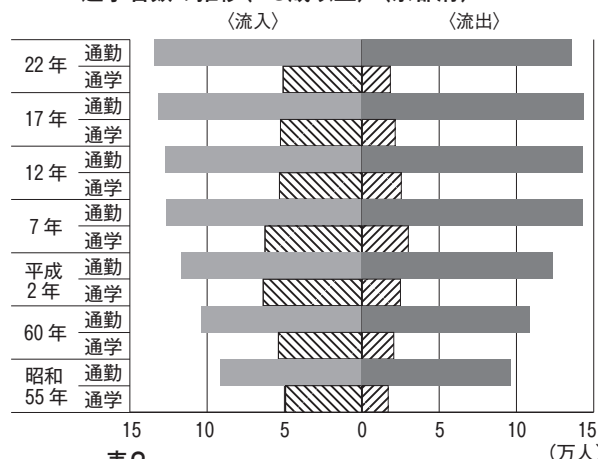


表 1 全国都道府県上位 5 位

都道府県名	昼夜間人口比率
東京都	118.4
大阪府	104.7
愛知県	101.5
京都府	101.2
広島県	100.3

表 2 京都市内市区町村上位 5 位

市区町村名	昼夜間人口比率
久御山町	174.8
京都市下京区	171.1
京都市中京区	147.3
京都市東山区	138.8
京都市南区	137.9

全国市区町村上位 5 位

市区町村名	昼夜間人口比率
東京都千代田区	1738.8
大阪府大阪市中央区	591.9
東京都中央区	493.6
東京都港区	432.0
愛知県名古屋市中区	379.1

(参考) [昼間人口] = [夜間人口] - [通勤・通学によってその地域から出る人口] + [通勤・通学によってその地域へ入る人口]

(資料出所) 図 1、図 2 は国勢調査 表 1、表 2 は平成 22 年国勢調査